

肥後橋駅(地下鉄四つ橋線)①

ヴォーリスの教会と頼山陽生誕地と

渡辺橋駅(京阪中之島線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.066



地下鉄肥後橋駅

① 肥後橋商店街

- 長さは約79メートルで「日本一短い商店街」とも呼ばれています。以前は玉水商店街と呼ばれていました。



② 金光教玉水教会

- 昭和10年(1935)建築。木造平屋建てで一部を2階建てとする裳階付きの大型和風建物です。堂々とした外観で風格があり、国の登録有形文化財(建造物)に指定されています。

③ 頼山陽生誕地

- 頼山陽は江戸時代後期の歴史家・漢詩人・文人です。安永9年(1780)、広島藩の儒学者・頼春水の子として生まれました。江戸に遊学後の寛政12年(1800)、突如、脱藩を企て失敗して、廃



- 嫡のうえ自宅へ幽閉されますが、そこから源平、南北朝時代から徳川時代までの武家の栄枯盛衰を書いた歴史書『日本外史』を執筆。この本は幕末時に大ベストセラーとなり、尊皇の志士たちに多大な影響を与えました。

④ 日本基督教団大阪教会

- 米国宣教師ゴルドン氏の伝道で明治7年(1874)、西区に創立された梅本町公会が前身です。平成16年(2004)には創立130周年を迎えた日本最古級のプロテスタント教会です。現教会堂は建築家ヴォーリスの設計で大正11年(1922)に建造されました。ロマネスク様式のクラシックな赤レンガ建築で、重厚なアーチや尖塔、切妻屋根、美しいバラ窓(円形飾り窓)など数多くの見所があります。国の登録文化財。

⑤ 大村益次郎寓居跡

- 大村益次郎(1824~69)は、儒学・蘭学・医学・西洋兵学に通じた幕末の軍政家です。弘化3年

- (1846)、23歳のときに大坂に出て、緒方洪庵の適塾で学びました。極めて優秀な塾生で嘉永2年(1849)には塾頭となっています。当初は塾に寄宿していましたが、のちに当地にあった江戸堀の倉敷屋作衛門邸に下宿しました。高杉晋作の奇兵隊を指導し、長州征討や戊辰戦争の勝利の立役者となりました。明治新政府の兵部省初代の大輔を務め、「近代日本陸軍の父」と呼ばれています。しかし明治2年(1869)に京都で国民皆兵反対派の刺客に襲われ、46歳で没しました。

⑥ 先賢景仰碑(西船場小学校)

- 当地は江戸時代以来多くの先覚者・学者・文化人を生みだし、それを記念して昭和10年(1935)に建てられました。藤沢章の撰文で、頼山陽・篠崎三島・篠崎小竹・並河寒泉・武内確齋・下河辺長流・耳鳥齋・半時庵淡々(あかつきのかねなり)・暁鐘成といった学者らの名前が挙げられています。

地下鉄肥後橋駅

